



「999 (トリプルナイン)」

作・演出 藤山悟志

企画原案 リアルコーヒーエンタテイメント

キャラ名	本名	通称・呼び名・通り名
MASAYUKI	鈴木…、下は明かさず	
初心者組合	百合崎瓜子	
うなぎ丼ぶり	石野文也	うなぎ
ノリ突っ込み	森尾由美夫	ノリさん
ゆうれいこ（うらめしこ）		皿割りこ
家系番長		姉さん・姉御
うず・きゅーめー・ガン		富山の薬売り・ガンちゃん
詩人の光		光（ひかり）
ジャック		
座長		
マルメン（巨大双子）		
キモメン（巨大双子）		
ルンルン（巨大パンダ）		

登場人物は、うなぎ井ぶり、ノリ突っ込み、初心者組合、MASAYUKI、の4人。

4～5分程度、断片的な台詞とアクション。

音楽のPVや、MADのような。

4～5分間の中で演じられるストーリーの概略は以下の感じ。

『私は小さな掘っ建て小屋の中で見知らぬ男女ふたりと一緒に目を覚ます。小屋の中央にはモニターが設置されていて、三つのスクリーンにそれぞれ自分の顔と名前と「111」という数字が写されている。床には武器も置かれている。窓の外に見えるのは広がる砂漠と、別の二つの小屋。三つの小屋はどうやら正三角形を作っているらしい。小屋の屋根の上には「333」とだけ表示された電光掲示板。唐突にゲームが始まり、窓の外を眺めていた男が銃撃を受け、倒れる。前のゲームを生き残った強者たちが何も知らない私たちを襲ってくる。そうして、謎を解きながら極限的なゲームを生き抜いていく私もついには倒れ、仲間を残して死ぬ……』

暗転。

明転。

うなぎ井ぶり、ノリ突っ込み、初心者組合、MASAYUKI、の4人全員、倒れ伏している。

4人、悪夢から目覚めた時の様な、あるいは水を張った洗面器から顔をつけっ放しにしていて、ようやく顔を上げた時の様な、そんな感じで飛び起きる。息は荒い。

4人がそれぞれ、順にそうやって起き上がっていく。

石野「(息を整えながら) 謎を解きながら、極限的なサバイバルゲームを生き抜いてきた俺もついに倒れる。共に闘ってきた仲間も残したまま、あと少しでクリアという所で、死ぬ。

するとキャラではない本当の自分として目を覚ます……！

両手で口を覆うマイム。驚きの身ぶり→「999」のポッド(繭)内のマスクへ変化する。

満タンの羊水のごとき球体(ポッド)からコード千切って転げ出で、ふう、緑色の熱いシャワーで全身を洗い流し、全ては仮想現実だったのだとほっとしたのもつかの間、俺は自分がゲームに参加した本来の目的を思い出す。

俺はゲームエンジニア。近頃色々と問題の取り沙汰されている「999」を、中に入りながらメンテナンスしているのだった。

エンジニアの俺が、わざわざゲームの中に身を投じた理由はもう一つ。恋人が「9

「999」に消えたまま戻って来ないのだ。何故？ あいつはこの手のゲームをやらない筈なんだ。心当たりがなさ過ぎる。

もう一度ゲームを始めよう。今度は闘いの中で、何もかも忘れてしまわないように。ゲームエンジニアが、馬鹿正直に、正攻法でいく必要はないって話。

いや、中に入れてみて分かった。今どきの市井のプレイヤーは、とっくにその手のパッチをどこぞかで手に入れてる。

設定を変える。

ゲーム内外での記憶は失われない。

さあ！ もう一度ゲームを始めよう。……と、いう訳で、私は今回のプレイでこんなアバターを選んだ。現実の俺は、外見もキャラもこんな感じとは全然違う。

けど、そこは、まあ、せっかくのゲームなので……。

石野、ストップモーション。今度は森尾が飛び起きる。以下、同じ流れ。

森尾「(息を整えながら) 謎を解きながら、極限的なサバイバルゲームを生き抜いてきたんだが、ついに倒れてしまった。共に闘ってきた仲間も残したまま、あと少しでクリアという所で、死ぬ。

するとキャラではない本当の自分として目を覚ます……！

満タンの羊水のごとき球体(ポッド)からコード千切って転げ出で、ふう、どどめ色のぬるいシャワーで全身を洗い流し、全ては仮想現実だったのだとほっとしたのもつかの間、俺は自分がゲームに参加した本来の目的を思い出す。

そうだ、ゲームエンジニアだったのだ。

「999」を、中に入りながらメンテナンスしているのだ。そして、エンジニア自らわざわざゲームの中に身を投じた理由はもう一つ。

恋人が「999」に消えたまま戻って来ないのだ。

最後にとった連絡で、あいつはとんでもない事を言っていた。「実は私もついこの間、ゲームエンジニアになった」と。

あなたを「999」の中までも追いかけて、新米のエンジニアになったのだ、と。

もう一度ゲームを始めよう。今度は闘いの中で、何もかも忘れてしまわないように。ゲームエンジニアが、馬鹿正直に、正攻法でいく必要はないって話。

いや、中に入れてみて分かった。今どきの市井のプレイヤーは、とっくにその手のパッチをどこぞかで手に入れてる。

設定を変える。

ゲーム内外での記憶は失われない。

さあ！ もう一度ゲームを始めよう。……と、いう訳で、私は今回のプレイでこん

なアバターを選んだ。現実の俺は、外見もキャラもこんな感じとは全然違う。
けど、そこは、まあ、せっかくのゲームなので……。

百合崎「(息を整えながら) 謎を解きながら、極限的なサバイバルゲームを生き抜いてきた
あたしもついに倒れる。共に闘ってきた仲間も残したまま、あと少しでクリアと
いう所で、死ぬ。

するとキャラではない本当の自分として目を覚ます……！

満タンの羊水のごとき球体(ポッド)からコード千切って転げ出で、うひゃあ～、
ふわあえ～、ピンク色の冷たいシャワーで全身を洗い流し、全ては仮想現実だっ
たのだとほっとしたのもつかの間、あたしは自分がゲームに参加した本来の目的
を思い出す。

あたしはゲームエンジニア。近頃色々と問題の取り沙汰されている「999」を、
中に入りながらメンテナンスしているのだった。

エンジニアのあたしが、わざわざゲームの中に身を投じた理由はもう一つ。恋人
が「999」に消えたまま戻って来ないのだ。

あたしと違って、あの人はゲームなんかやらない人。きっと迷子になって帰って
来れてないから。

とか言ってあたしも、エンジニアの癖にゲームは全然できないんだよねえー。お
給料いいから無理してんの。

ってどうでも良い話。設定を変える。ゲーム内外での記憶は失われない。

さあ！ もう一度ゲームを始めよう。

百合崎の傍にすすっと近付いてきた2キャラ。

ジャックと幽霊の子である。

ジャック「やあ！（百合崎の肩に手をやり）

れいこ「よーし、やるぞー！（一人テンション上げてってる感じ）

百合崎「……あれ。これは誰かな。

ジャック「さあ！ もう一度ゲームを始めよう。俺はジャック！ USB メモリーには大概
USA ロック。

百合崎「うひゃあ～。えーと、えーと、何だコレ。

れいこ「と、いう訳で、私は今回のプレイでこんなアバターを選んじった。とかいって、
台詞取っちゃったー。取っちゃったー。

ジャック「幽れいこちゃん、それはひどいなー。

百合崎「あれ、何で、何で、台詞取られてく！？

ジャック「俺はジャック。君を助けるために、君の心の中からやって来たキャラクターさ。

れいこ「私はうらめしこ。この「999」に棲みついでる幽霊なんだけど、今はあなたに取り付けてうらめしやー。

百合崎「いやあ！ どんどん主導権とられるー。これはアバター。現実のあたしは外見もキャラも、こんな感じとは全然違います！

鈴木「(息を整えながら) 謎を解きながら、極限的なサバイバルゲームを生き抜いてきた私もついに倒れる。共に闘ってきた仲間も残したまま、あと少しでクリアという所で、死ぬ。

するとキャラではない本当の自分として目を覚ます……！

満タンの羊水のごとき球体(ポッド)からコード千切って転げ出で、……やれやれ……、変な臭いのゼリー状のもので全身を洗い流し、全ては仮想現実だったのだとほっとしたのもつかの間、私は自分がゲームに参加した本来の目的を思い出す。

私はゲームエンジニア。近頃色々と問題の取り沙汰されている「999」を、中に入りながらメンテナンスしているのだった。

エンジニアの私が、わざわざゲームの中に身を投じた理由はもう一つ。恋人が「999」に消えたまま戻って来ないのだ。

いまだに信じられない。どうして「999」になんか……。

私がゲームエンジニアであるということ、それも「999」の担当だということ、あの人は知らない……。

会えば分かる。探し出せば分かる。

設定を変える。ゲーム内外での記憶は失われない。

さあ！ もう一度ゲームを始めよう。……と、いう訳で、私は今回のプレイでこんなアバターを選んだ。現実の俺は、外見もキャラもこんな感じとは全然違う。

けど、そこは、まあ、せつかくのゲームなので……。

N (ナレーション・天の声) 入る。

N 「ログイン ID とパスワードの設定が終わりました。

後の画面で再設定ができます。

プレイヤーの名前を登録して下さい。

石野「石野文也。

N 「プレイヤーの名前を登録して下さい。

森尾「森尾由美夫、っス。

N 「プレイヤーの名前を登録して下さい。

百合崎「百合崎瓜子です。

N 「プレイヤーの名前を登録して下さい。

鈴木「鈴木……。これ本名とか、フルネームで、全部入力しなきゃ駄目ですか？ 名字だけで済ませられない？

N「はい。構いません。

鈴木「じゃあ、鈴木、で。

N「次に使用するアバターの名前を登録して下さい。

鈴木「……ん？ ……そっか、アバターの名前はまた別か。……じゃあ、MASAYUKI で。ローマ字でM・A・S・A・Y・U・K・I。MASAYUKI。

N「使用するアバターの名前を登録して下さい。

石野「うなぎ丼ぶり。

N「使用するアバターの名前を登録して下さい。

森尾「んー、ノリ突っ込みっス。

N「またまた、適当な名前付けちゃって。

森尾「ええ～！？

N「本当は何でも良いんでしょ？

森尾「あ、まあ。

N「じゃあ、私が付けちゃいますよ。リアルモーニングコーヒーで。

森尾「あ、いいですね。やっぱ、企画原案の元の方にもちゃんとコピ売っていかないかね。ってオーイ！ 勝手に変えんなよ！

N「ありがとうございます。

森尾「さっそく一回目を……。ああ（照）。

N「使用するアバターの名前を登録して下さい。

ジャック「ジャックです！

れいこ「うらめしこです！

百合崎「ちよっちょっ。勝手に進めない（お姉さん口調で）。

ジャック「えー。皆で相談しながら進めようよー。

百合崎「あー、淋しがりだから良いけど～。

ジャック「うっし。

百合崎「名前かー、名前かー……。 （2人の顔を見て逡巡して）初心者組合で。

3人「初心者組合で！

うな井「とまあ、そんな訳で僕は（他の3人肩叩かれ、見返して）いやさ、僕らはオンラインゲーム「999」をプレイする運びとなります。

このゲームの説明をしていきましょうか。

基本的には、武器を取り、生き残りをかけて戦うアクションゲームです。

ノリ「毎回、ロケーションや使用可能な武器はランダムなようです。

目を覚ますと、三つの小屋にそれぞれ三人ずつ配置されます。

突然の敵襲なんてものに気を付けながらも、窓の外を見れば（皆で実演しつつ）、小屋の位置取りは正三角形を作っている。その中央の点にモニターが設置、スクリーンにプレイヤーの顔と名前と「111」という数字が映されている、これは毎回変わらないよう。

初心者「あの、なぜこのゲームに不慣れかという、いくつかのゲームを同時にエンジニアは担当してる訳なんですね。そして、あるゲームではそのごく一部のシステムの、ごくごく一部のメンテを担当する集団で、その中の一人なだけなんで……（上手く繋げない）。

MASA「ゲームの全体像は、4人とも知らない。もちろんプレイしたこともない。

初心者「そうそう。それでも……ね？ 大丈夫で……ね？

MASA「それでも、ゲームのエンジニアという職業を全うすることができる。1人のゲームエンジニアはとても小さな存在で……。『999』、ゲーム世界はとても大きくて……。

ルールに戻ります。

111点ずつ持ち点を持つ9人のプレイヤーたちが、3人ずつ3つのグループに分かれて三つ巴の殺し合いを行うゲーム。

111点のライフポイントは相手にダメージを与えた者の得点となり、自分のグループの合計に加算されるようです。

ノリ「2チームが全滅したところでゲームオーバー。クリアできなかった場合は、当然のように再度トライ。

うな井「もう一つ。大事なシステムに気付いた。……仕方ない。そこまで追い詰めるんなら、やってやるよ。殺し合い！ 来てみろよ！ 首刎ねてみろよ！（息、ずっと荒く）

うな井対ノリ&MASAでバトルへ。

バトル⇒ロビーの実演をする（ゲーム内システムの解説）。

MASA「刎ねましょう……。その喧嘩ア、買ったあッ！（少し泣きそう。不安定な感じを少しだけ）

ノリ「（無言で武器を構える）……。

スローでMASA&ノリの元へ斬り込んでいく、うな井。

数歩進んで、ストップモーション。足元回転。3人会話する。

うな井「あっ。右、右、左、でいきまして、直後に薙ぐんで、紙一重系でヨロシクです。

MASA「あ、はい。了解です。

ノリ「あ、今、ようやく分かった、これロビーの実演していくつもりなのね。

MASA「あっぶない。たまたまつないだの。殺し合いになっちゃう所だった!？」

ノリ「いやもう、バトルっぽい時は、常時つなぎっぱのタイプなんで（右手でオーケーの身ぶり）。

うな井「僕らは、戦闘中の世界とは別に、もう一つの世界につないでいる。

それがこのロビーと呼ばれる世界だ（照明変化してます）。

ここは戦闘のない中立地帯。ゲーム外でのプレイヤー同士の交流の場だ。

MASA「このロビーは、「999」での戦闘中も利用することができます。

うな井「防いでみろや！ 右ききの俺は全部右側から斬り込んでやるよ！

ノリ「……乗ったあッ！ 右、右、右ィ！

MASA「こんなの絶対引っかけだよ！ 私はそう思う……！

うな井「あ。どうも。引っかけですw

ノリ「MASAさんて、以外と演技派入ってるよね。感心しちゃう。

MASA「いやいや。上手いですね、お世辞。

うな井「じゃあ、右、右、左、で。

ノリ「そうだ、俺、超驚いた顔しよ。

うな井「よっ、演技派。*同時に

MASA「頑張れ。*

サイゴは、素早く地面叩いて、キャンセルかけて太刀筋を変化さす。

で、薙いだ後……。再びロビーで。

ノリ「こっからどうします？

うな井「したら、俺とノリさん相打ち、MASAさんかろうじて生き残る、でいきませんか？

MASA「難しいなあ。*

ノリ「難易度高え～。*

何とかこなす。

MASA「だから言ったじゃない……。！ 最悪だよ……。！（泣）

私一人で、一体、どうやって残り6人なんかと……。

ロビー再び。お互いに挨拶して。

MASA「……とまあ、こんな感じで（客席へ）。

ノリ「伝わります、よね？（客席へ）

うな井「こんなロビーを、プレイヤーは勝手に作っていたんです。

そう、エンジニアの知らない所で。

MASA「ロビーが戦闘中と、ゲームやってない時でも、どっちでも交流できるっての伝わるかな？

初心者「あ、じゃあ。あたし「999」やってないプレイヤーするよ。

少し戻ります。

ノリ「もっ回、どうします？

うな井「やっば、俺とノリさん相打ち、MASAさんかろうじて生き残る、でいきませんか？

初心者「ドキドキ。

れいこ「ドキドキ。

ジャック「ドキドキ。

少し外れた椅子のある所で、初心者組合たちは見えます。

うな井たちは、ちょっとそこへリアクションする感じで。

MASA「難しいなあ。*

ノリ「難易度高え〜。*

初心者「見てて、見てて、ノリさんだけは、さっきの動きにアレンジを加えて、側転とか入れてくれるよ！ だって元アスリート、氷上の貴公子だもの。

れいこ「ドッ、ドキドキ！？」

ジャック「ドッキドキ！？」

ノリ「ああそうそう。この前の冬季五輪（トリノ）の時には、膝の故障で泣いてねえ……、
ってオーイ！

ジャック「しかもスケート側転、ないしね。

初心者「あっちゃ〜……！ 氷上の、って言った時点で、側転というチョイスがない！

他の皆「うんうん（うなずく）。

ノリ「ホントだよ。せめて、トリプルルッツとかにしとけよ。

初心者「じゃあ、ソレで。

ノリ「できねえよ！w

少しだけ動き始めた所で……、次のシーンへ。

4人の出会いの流れ。

うな井を残して皆、舞台から去る。

うな井「僕ら4人は、「999」に入ってすぐに出会った。

うな井の元へ、初心者組合が飛び込んでくる。

足を撃って、指で拷問しながら会話。嗜虐心を煽る様な芝居を。

うな井「あんたじゃもうクリアできないんだよ。

初心者「どうして。何で。

うな井「お仲間が2人揃って死んでるじゃねえか。

初心者「だったら一人で……。

うな井「三人で一組。

初心者「は……！？

うな井「分からない中やってるのは、こっちも一緒だけど。何度もくり返してって、ようやく、これだけは分かった。仲間が死んだ状態では、このゲーム、絶対にクリアできない。

初心者「仲間が死んだ状態では、絶対にクリアできない……。

うな井「“そのことを知らないぐらいの初心者”を探してた。ロビーで待ってる。

初心者「ロビーで待ってる……。

うな井「手を組もう（殺す。トドメを刺す）。

指をさして、名を呼び合う。

初心者「うなぎ井ぶりさん（本人、うなずく）。

うな井「初心者組合さん（本人、うなずく）。

がっしりと握手。

首しめ vs 太ももにナイフ。

極限の狂気（泣←→笑）と、（仲間を殺された悲しみからの）大泣き。ヒク芝居を。

ノリ「あんたじゃもうクリアできないんだよ。

MASA「どうして。何で。

ノリ「お仲間が2人揃って死んでるじゃねえか。

MASA「だったら一人で……。

ノリ「三人で一組。

MASA「は……！？

ノリ「分からない中やってるのは、こっちも一緒だけど。何度もくり返してって、ようやく、これだけは分かった。仲間が死んだ状態では、このゲーム、絶対にクリアできない。

MASA「仲間が死んだ状態では、絶対にクリアできない……。

ノリ「“そのことを知らないぐらいの初心者”を探してた。ロビーで待ってる。

MASA「ロビーで待ってる……。

ノリ「手を組もう（殺す。トドメを刺す）。

指をさして、名を呼び合う。

MASA「ノリ突っ込みさん（本人、うなずく）。

ノリ「MASAYUKIさん（本人、うなずく）。

がっしりと握手。

うな井「会わせたい人がいるんだけど。

ノリ「こっちにも一人。

改めて名前呼び合う。今度は略称の人も。

うな井さん、ノリさん、組合さん、MASAYUKIさん。

うな井「僕ら4人は、「999」に入ってからすぐに出会った。

そして、ゲームエンジニアとしてクリアを目指す、同じ様な人間なんだと、虚構の大海原で呉越同舟なんだと、互いを知ることとなる。

何かやっぱ、似たようなことしてる人、この広い世界、たっくさんいるんだよな～。

……消えた恋人を探してるのは、自分一人だけだろうけど。

皆、戦闘を終えて、素早く転がり込んでくる。

ノリ「QKQKw QKQKw

初心者「ん??なんなんなんです、それ?

ノリ「休憩、休憩。アルファベットのQとKをくっつけて、キュウとケイ。ね。

初心者「ありがとうございますう。(れいこ、ジャックにむけて)勉強なったね。……え。

え! え!! ち! が! 痛! ち、が!

ノリ「なに!? 違うの!? 一緒なの!?

MASA「あんたなんでそんな血塗れ。

うな井「ええ、まあ。斬られちゃいましてね。(ウイスキーの瓶を取り出す)

MASA「固まってなきやって云ったのに。

うな井「左腕、ほとんど動かないんです。や一、これ大丈夫かなあ。ワープロの左側のキーとか打てるかなあ。

ノリ「ああ。ねえシフトとか心配だよな。ま、大丈夫だよ。ctrl と v、指と顎でこう上手くゆっくり……って、非常時にそこ心配かよ!

うな井「クリアできたら、このぐらい帳消しですから。ささっと状況確認してしましよう(口に含んだウイスキーを思い切り吹きかけて)。

ノリ「うちの親父もそれ好きだったなー。俺あクサクて駄目だわ。

初心者「気が強いんだか馬鹿なんだか。

ジャック「や一、男だね! こゆの素敵ね!

れいこ「あたしイヤだな~。

MASA「……270点。

ノリ「ん?

MASA「私たちのポイント、270点。

ノリ「……減ってね!?

うな井「この左腕で63点とられた。

ノリ「ていうか、したらあと何点とりゃいいんだ……?(疲労し呆然)

うな井の次の台詞に、皆驚く。

うな井「……何点とってもダメでしょうね。すいませんね。これ、わかりましたよ。なんで3人じゃなきやだめなのかってことも含めて。あの赤い帽子を深くかぶった…
…。

MASA「さっき襲われたあのチーム。

うな井「そう(ぐいぐい飲む)。で、あ一、それが、……。

皆「(飲んで加速度的にロレツが回らなくなるうな井を見て、全員ドン引き)

うな井「……酔拳キャラなんすよ。飲んだ方がケンカ強くなるって。パラメータ上がるって。……、ま、あその小屋の連中が私の63点もってった……のに、あの点数っておかしくないですか。(一同、気付きの顔) そうなんです。誰かを倒したら、そいつの111点から『チームのポイント』に加算されるんです。俺の奪われた点数は補充されたりしないんです。

ノリ「手早く云うと、3人『無事』、『無傷』じゃなきゃダメ。

うな井「その様ですね。かすり傷くらいならいいんでしょうけど、これ普通なら2か月くらいは病院のお世話でしょう。あっちを撃って斬って殴って点を稼ぐってことは、こっちが撃たれて斬られて殴られてしまったら、結局点数減っちゃうってことですよ。

MASA「(手を挙げて) 他のチームを全滅させて999点(トリプルナイン)稼いだらクリア、ルールではそうあったはずよ。こっちがリードしてることに変わらないんだし、まだ限界までトライする価値はあるでしょう。結果は、そう、カミのみぞ知る……。

ノリ「困った時には神頼みだよな……、って訳ねえだろ！ こういう場面でキャラ作りすぎだろ。

うな井「あっちと……あっち、そして僕たちの270点……このフィールドにはもう999点、存在してません。

ノリ「ああ……！

うな井「それに、こういうのもアレですが。意識が朦朧としてきました。

ノリ「何だって！

うな井「すみません……私、リタイアです。

暗転。

ロビーに戻ったノリ、うな井、MASA。初心者組合と合流する。

ノリ「あー、くそっ、やってられっか。

うな井「足引っ張っちゃったみたいで。

初心者「あり、ます、よ。そゆこと。もっかい頑張ればいいじゃないですか。頑張りましょうよ。

MASA「一回パスするわ。

ノリ「え？

MASA「今回の失敗自体はいいの。今までにも一人で何度も失敗してきたし、けど曲がりなりにも命張って背中預けようっていうんだから。自分からこんな簡単に負けを認めちゃうようじゃとうてい生き残ることなんてできないでしょ。……まったく、酒ばっか飲んで……。

初心者「それゲームの設定だから。

MASA「カミサマ……、やっつけられない（背を向けて、小屋を去ろうとする？）。

ノリ「そっちだってキャラ作ってんじゃねーかよ。おいおい！　こんなんで降りるってマジかよ。

うな井「信用って築くのは難しいけど、失くすのは簡単なんですよ。

初心者「え、なんでこの人そんな他人事なの。

れいこ「それ、あたしじゃなくて直接云ってよ！

初心者「うんとね、それはさあ。

ジャック「つーか、大人しく見てろっての。

ノリ「おま、云うことは尤もだけどよ、こっちもそんなお前に背中預けようってんだろ。一回シクったくらいで見限ろうって奴が、どの口で大口きけんだよ。（この台詞で、MASAの方を掴んで呼び戻す。そして、三人で交互に背を守りながら回っていくアクション・身体表現）。

初心者「あわわわ、け、けんか？

うな井「いいですよ、私降りますよ。自信はあったつもりなんですけど、まだ早かったのかな

れいこ「あわわわわ。

初心者「早くも空中分解？　せっかく知り合ったのにもうさよなら？

ジャック「それを見てないで止めるとかしようよー。

MASA「……べつに誰も降りる必要なんてないじゃない。ハヤトチリ、早漏？　一回パスって云ったのよ。

ノリ「なんだよ。

うな井「パス……。

MASA「今度はばっちり決めてきて。3人で（指で指名する）……初めっから信じることにしてるのね（胸のネックレス握って）。（うな井へ向け）私はロビーから見てるから、汚名返上なさい！

うな井「（笑い）腕によりをかけて。料理！

MASA「出番よ。

初心者「（自分を指指しながら）わた！？

MASA「憎まれ役を買って出た甲斐があったようね！！

ジャック「こんなキャラだっけか、この人（れいここと、指でMASAを指しながら）。

れいこ「ていうかさ、出番じゃない？　あたしたち！

ノリ「ほら、さっさといくぞ～。

再び戦闘への扉が出現。

初心者組合の3人、ノリの順番でドアから出ていく。

うな井が扉から出ていこうという瞬間で。

うな井「ロビー……？」

MASA「(神のご加護を的な動き) もっと酔っぱらった方が。

うな井「そりゃ酔拳だし……。

MASA「(首を振って) ヒロイックに振舞うの。強い。あなたは確かに強い。でも、失点が多い。自分を守りながら、他人のミスをも防ぐ。これよ。999 (トリプルナイン) してみせて。

ノリ「ようやくこのくそつたれ999をクリア。満身創痍傷心旅行失ったものは大きい。
主に***の血液。

MASA「画面の全てを飲み込むほど大きく真っ青な扉が現れる。この先に待っている物語の
終焉に会いに、行きましょう。

うな井「狂ったセンスの扉。そこに狂ったセンスでレタリングされた純白のテキスト『9
99ステージII』……すてえじつー??

初心者「このくそつたれ999なんてガラにもないことを思う間もなく画面はブラックア
ウト。これで万事丸く収まる。。そう考えていた時期が私にもありました。

(そんな風に考えていた時期が私にもありました)

うな井「ふう。まるでヒーローだが、慣れないな、柄じゃない、キャラじゃない。冷めた
頭とふらつく足元。きっと俺は、いまだに俺は、自分に酔い慣れてないんだな…
…。そして俺 (=哀愁の酔拳使い) は向かう、「999」の第IIステージへ。

重い鉄の扉の閉まる音 (S.E)、バターン! で次の「999・II」へ。

「999・Ⅱ」

明転。MASAYUKI を含む9人が部屋の中にいる。

MASA 「「999」の第Ⅱステージ。また、同じような小屋の中からスタートなんだ……。今度は9人……。！？ 随分多いね。

すぐ隣に、巨体のアバターが2人。そっくり。双子！？

スモウの勝負なんかになったら、絶対勝てっこない、私じゃ。

MASA 「何かボソボソ言ってる。

……。俺の部屋の色……。青……。二人揃って……。青……。で。ラッキー。

……。第Ⅱステージの経験者だ。

照明変化、一度、ロビーにMASA行ってみます。が、誰もいない。

MASA 「ロビーに出てみる。けど、誰もロビーに出てきてない。

座長「おーい。

MASA 「すると呼ばれた。顔の見えない誰かから……。

座長「おーい。

MASA 「声だけが聞こえる。

座長「アンサン初プレイでしょ。ここ初見殺しのトラップ満載のステージだからー。うん。

そーそー、だから、一見さんいるときは、ロビーでは活動しないのよ。

一見さんのゲン担ぎ、楽しんでもらおうっていう、ま、あれさね、ローカルルールってやつでありんす。

MASA 「初心者殺し……。

座長「あいなア。

MASA 「(部屋の外見て、ビックリ) 小屋の外、湖……！

湖に、小屋が3つだけ浮かんでる……。

ザバン(S.E)という水中から人が上がってくる音がする。ドア蹴破られる(S.E)。

武器を持った男が現れる。泳いできて、息が荒い。

ガン「動かないで。騒がないで。すぐさま皆殺して話ではない。

ザワつく小屋の中。

男はまだドアを蹴り開けただけ、小屋の中には入っていない状態で喋る。

ガン「その人……部屋のその隅に、すげえ小さいモニターない？ 小さいの、ケータイぐらいの。

ある？ よね。数字が光ってるでしょ、読める？

ヒト「えっ……、2。2？

ガン「2か……2ね。2人ね。

MASA「何？

男は小屋の中に入ってくる。

ヒト「あ、3に……、増えた。

ガン「3色のチーム分けがされてる。クリアの条件は、同じ色の者、9人全員で、無事に、同じ屋根の色の小屋に集まること……（5秒ぐらいの間が過ぎる）。

はい！ 一気に消しちゃおう。

I をクリアのプレイヤー達ゆえ、それを聞いた瞬間、本能的に殺気立つ！

この時、MASAYUKI は、光の元へ倒れ込み、耳打ちをしておく。

ガン「(手を叩き静める) 質問させて下さい。

この小屋の屋根は、青。モニターの数字は2。だから2人いる筈です。この部屋の住人、手え挙げて下さい。2人いる筈です。

MASA「……（手を挙げる）。

ガン「うん。

MASA「でもちょっと待って、いきなりこんな、ねえ？ 皆を追いつめるような真似して…
…。

ガン「(手で制す) もう一人。

MASA「そんな……！

光「……（おずおずと手を挙げる）。

ガン「よっしゃ！ 早い！！

マルメンが「えっ、えっ、えっ……？」とかいってテンパる。

何故なら、本当の青チームはマルメン、キモメンの巨体の双子だから。

MASA、それに気付いて。

MASA「(キレた風で) ふざけんじゃないわよ! 何よコレ!

MASA、キレを装いマルメン、キモメンを一気に殺す。

大乱射大会。一瞬で屍の山。

ガン、MASA、光、だけが生き残る。

ガン「ええっ!? ええ〜……、ええ〜ッ!?

MASA「……あの、……ゴメンなさい。ちょっとパニックっちゃって……。

ホント……ゴメンなさい……。

ガン「ええ〜ッ……!? いや、まあ、いいか……。

MASA「あの、質問を。

ガン「ん、どうぞ。

MASA「今回は、9人が集まれば良いてゲームなのね。

ガン「……ま、いっか(説明してやっても)。そうそう。赤・青・黄の3チームがある。はじめは、ごちゃごちゃに混ぜられてて。自分と同じ色のメンバー9人で、同じ色した小屋に集まる。超ざっくり言うと、これが、クリア条件。

MASA「大変。

ガン「そうね。難易度ね……、はっきり言うと……、ハンパないよ。

MASA「部屋の隅のモニター?

ガン「うん。あそこの小っちゃなモニターに、屋根の色と同じチームの人間が何人いるか、人数だけは数字で出る。誰かまでは分かんない。

MASA「ふうん。

ガン「だから、俺が入って2から3に増えたでしょ。

(独り言に近く早口な感じで) ……もうそろそろ、隣の小屋でも制圧済んでるかな。

あと6人だもの。(人数多いし) いけんじゃね? すぐ集まってくるぜ。いやー、俺も、もしかして、初めてクリアできちゃうかもしれなくて、アガるわ〜。

MASA「あのさ、お兄さん。うちら、青じゃないよ、チーム。

ガン「……は?

MASA「ブラフ。ブラフ。青の人、殺しちゃった(双子を指して)。ね?(光に)

光「……あたし……黄色なのに……、(MASAを指して)青って言うといいよ、って……。

ガン「は……。

光「ねえ! あの! わざと嘘ついたとかじゃなくって……!

せっかくプレイしたのに、あんまり一瞬だと悲し過ぎるから○×△……!!

ガン「(プチギレ・でもヘタレギレな感じ)もお〜(泣怒)! ふっ、ふざけんなよ〜!!

何でそんなこと。またやり直して○×△……!!

3人で殺し合い。

MASAYUKI だけが、むくりと起き上がって台詞。

MASA「今回もハードそう……。やれやれ。けど、ルールは、分かった。

再び、同シチュエーションでゲームスタート。

ザヴァン（S.E）という水中から人が上がってくる音がする。ドア蹴破られる（S.E）。
武器を持った男が現れる。

MASA「また来る。

ガン「この部屋の住人、……。

MASA「第Ⅱステージは難しい。このステージでみいんな、ハマるらしい。ココはプレイヤーの駐留率が最も高いステージ。

ガン「手え挙げて下さい。

双子等「ナメンな！ もう学んでるぞ！！（等々、人々叫びながら）

今さっき学んだばかりの“3人（双子と光）”が大暴れ。残りを一気に殺す。

MASA「（息が荒い。深刻なダメージ）プレイ開始で早くも極限。決着。これが大体のパターン。はあ……。

眠いわ……私を守って……カミサマ……。

って、ゲームのキャラみたい……。

暗転。

下手より、MASA、うな井、ノリ、初心者の順に並んで立つ。

某映画のサントラのS.Eがかかる。

その音に合わせて、話の中心となる人物がポーズを取る。

他の3人は音に合わせて、中心となる人物をスローモーションで指さす。

初心者「ステージⅡは、春だった……！」

ようしさっそく。

2人「さっそく？」

初心者「まずロビーに出て、凄腕プレイヤーの実況をしよう。」

3人「お前が……、闘わないのかい！」

MASA「夏は嫌いだ。天を突くよな不快指数。追い打ちをかけてくる蝉の声（音を振り払うように首を振って……）。不思議に汗ばむこの借り物の体が、終わりのないゲームの中、痛痒感で私を苦しめる。」

MASAとガンとによる、台詞を言いつつのダンス的なパフォーマンス。

舞台センターに2人で集まって立ち、喋るたび交互に前に出るような形で芝居をする。

一連のセリフは、超スピードでかけ合いのこと！！

ガン「や、そこの人！ 暑いね～。俺、アバターネームがうず・きゅーめー・ガン。ガンちゃんに通ってる。小道具屋。小道具、買ってかない！？

MASA「商売、してるの。（汗を拭きながら）」

ガン「そうそう！（小道具の箱をゲームフィールドから取り出して）ほら！ ゲームのフィールドに直で埋め込んでさ、勝手に、お店開いてる。あ。みんなやってんだから、規約違反とか言うなよ？ 通報しないで下さいよ？」

MASA「別に、そんなメンドクサイこと……。」

ガン「他にラーメン屋やってる奴とか、変わったの色々いるよ。あんたみたいなクリアする気満々な人なんて、もう稀だからねえ……。」

ガンがMASAに絡んでる。相方を攻撃。袖を引っ張り足止める。

ガン「買って～。」

MASA「やだ……！」

ガン「買ってくださいよー。

MASA「ちょっと邪魔……！

ガン「見てくだけでもしてよう！

MASA「また今度で。……デパートでおもちゃをお母さんにねだる子供か！

2人で背を向け敵プレイヤーから逃げている。後ろを走る MASA だけ撃たれ、死ぬ。
倒れてる MASA へ向かって、ガンが語りかける。

ガン「ほら死んじゃったじゃん。んな重たいライフル的なやつを、女の子には無理だって
いったじゃん。こんなものより傘もってこうよ日傘、その方がお似合いだったよす
っごく。俺が都合付けてやるって云ってるのに、聞かないから死んじゃったじゃん。

MASA「商売にかまけて、見殺し。ひどいね。あの子は同じチームなんですよ。

ガン「うん

MASA「チームのメンバーが助け合わないとクリアなんてできっこないでしょ

ガン「あの子地雷だしなー。私はベテランだから強いわよってやたら自信過剰だしやたら
仕切ってリーダー気取るくせにすぐ助けてとかそれ欲しいなーとかやたら姫キャラ
乙って感じだし。その点あれだね。あんたいいよ！ 俺と一緒に頑張っちゃおうよ！
(MASA はそれを聞いて「かゆい〜！」なりアクション)

MASA「生き残ることが第一のこの世界であなたみたいな人に背中を預けるわけにいかない
わ。

ガン「俺使えるよー！ なんでも手に入るし、ここ詳しいし。

MASA「便利な人が欲しいんじゃないの。命をかける人が欲しいの

MASA「ここに来る3人私が1人で倒す。……そしたら、向こうの小屋に仲間が6人、きつ
と、待ってる！（ゲーム内特有の、祈りのポーズ)

ガン「近頃ますます、暑いよね〜。(ビールジョッキで、がぶ飲みしながら)

MASA「だあっ！？

ガン「買わないの？ 小道具、そうだ姉さんのリクエスト通り、武器も仕入れたよ。

MASA「この前、たくさん買ったじゃない……！（目をつぶり集中しようと努力。消えろ
のジェスチャー)

ガン「うちも採算とんの厳しくて〜。

MASA「ちょっと集中させてよ。ただでさえ、このふざけた真夏設定で、おかしくなりそう

だってのに。

ガン「暑いよね。かゆいよね。あせもとかできるよね～。

MASA「かゆいのよ、あんたの能天気な芝居が！ シリアスな空気を破壊するのよ！

ガンが MASA に巨大なハンマーを購入させる。

MASA、実際に振るって様子確かめていく。

ガン「ハンマー、よく似合ってるよ！

MASA「カミサマ……、この武器で……運命に打ち勝ちます。

ガン「かゆい～！！ 芝居がかゆい～！！ 夏場に不快～！

MASA、ガンに蹴りを入れた。でも、ガンちゃんは懲りてない様子。

ガン「もっとさ、俺を見てよ！ 好きになってよ！

MASA「あなたには用事も興味もないから。

ガン「俺はあんたに興味津々だよ。おっけ手伝うよそしたらもっとさ俺の話とか聞いて一緒に楽しくなってくれるよね。

MASA「ぶっちゃけウザい人ね。

ガン「そう云われるの慣れてる。ていうかナニ、そんなに俺を戦わせたい？ 俺ヤバいんだよマジで。一回バトリだすと自分でも止められない。……もう周りの動くものとか全部壊しつくすまで止まんない。……暴走しちまうんだよ、俺のこの左腕がさ。(右手を押しえてブルブル震えてる) ……さて、突っ込めるのは二か所まで！

(MASA はまたもや、「かゆい～！」なりアクション)

ガンは基本的にチャライ人。

MASA と話していても、途中で別のプレイヤーに気を取られることもしばしば。

そんな様子を、動きで表現。

ガンと通りすがりの初心者組合 (賭け事ばなししてる)。

MASA に、首ねっこつかまれて、引き戻される。

ガンと通りすがりのノリ突っ込み (武器の密売してる)

MASA に、首ねっこつかまれて、引き戻される。

ガン「ハンマーの使い勝手はどう？

MASA「いい調子。

ガン「よかった。並居る敵をソレで叩き潰してくれよ。……主人公っぽいんだよ、あんた。

MASA「出る杭は打つわ。

またもや、お互いが「かゆい〜！」

祈りのポーズをガンが茶化している。

MASAに激怒され、死亡。悲鳴のS.E！

ガン「幸せかい？

MASA「どうかしらね。

ガン「自分の人生って、もっと上手くいくような気がしない？

MASA「そう？

ガン「あのさ。

MASA「何？

ガン「あんた、どんなカミサマ信じてるの。

MASA「(胸のネックレス掴んで) ……これ。

ガン「じゃなくて……。今度、「999」の外で会えないかな。

MASA「どうして？

ガン「いや、合わせたい人がいるんだよ。

MASA「え？

ガン「え。

MASA「え？

ガン「え？

MASA「もしかして。……宗教の勧誘！？ えっ。……本当に勧誘！？ そんな、キャッチ
のお兄ちゃんみたいなキャラして！？ あははははは！ (大笑い。涙を拭いて)

ガン「なんだよー。本当にいい話なんだよ。あと“黄色い飴”っていうさ……。

MASA「はいはい。わかった、わかった。そりゃ押しが強いわ。芝居がかってるわ (笑い)。

ガン「どうよ？

MASA「熱心に付きまよってると思ったら……。こんな場所まで来て、カルトに勧誘か〜。

ガン「人聞き悪いなあ。

MASA「あははは……！ ……今の自分は幸せよ。……でもいいわ、いつか「999」の外
で、リアルで、会ってあげる。

ガンちゃん、ガッツポーズする。

うな井「秋は嫌いだ。終わりのこない長雨。憂鬱。曇天（どんてん）。

ドアの音。うな井、部屋に駆け込んでくる。

二人ほどの、客、無言でラーメンをすすってる。

※基本的には、登場人物たちはテーブルの上に無造作に武器を置いておいてください（後半の伏線のため）。

家系番長「へい、らっしゃい！

うな井「？（武器を構えて入ってくるのだが、場違いな雰囲気驚く。拍子抜けした顔）

家系番長「空いてる席、座んなさいな。何にしよう？（メニューと水を）

うな井「ラーメン……屋……？

家系番長「これでも繁盛してんのよ。

うな井「じゃあこの、とんこつ全部のせで。

家系番長「にんにく増しとこうか？

うな井「えっ？

家系番長「サービス。闘ってんなら、スタミナ付けなきゃ（少々おどけて、ガッツポーズ）。

うな井「疲れてるように見えた？

家系番長「まあね！（ラーメン作りながら）

うな井「（何口かすすった所で）……銃声……！ また来ます。

家系番長「（手を振って見送る）うん。

家系番長「決闘するの、あたしと？

うな井「それでもいいですよ。

家系番長「強いんだよ、あたしは。

うな井「へえ？

家系番長「あたし、このゲームさ、全ステージクリア寸前までいったんよ。ま、ネタばれはしないけど……w。で結局さ、この第Ⅱステージが一番いごちよくってね。

うな井「すごいな。

本気でバトル。

家系番長「ところであんた、チームの色、なに？

うな井「赤。

家系番長「よねえ、あたしも、赤。

うな井「……（武器を下ろしかけ）。

家系番長「ラーメン、食べる？」

苦笑しつつ、バトルをやめた。

ラーメンを食べるうな井、まかないを食べる家系番長。

家系番長「あんたもさ、よくこの第Ⅱステージで見かけるから、けっこうやるんだろけど……。

うな井「あくまで目的は全ステージの無血クリアですからね、こんな所で……。

家系番長「無血は大きく出たね。無傷でクリアしたいっていうのはナイよ。聞いたことないよ。そういうのを目標に掲げて頑張る姿ってのは、男らしくて素晴らしいと思うけど叶わない夢だってことはわかっていい歳なんだろう……？」

家系番長「今あたしが何考えてるかわかる？」

うな井「何だろう。

家系番長「内緒。

うな井「はあ。……外、雨、やまないっすねえ……。

家系番長「今あたし、どんな気持ちかわかる？」

うな井「ええ？それは、あれかな……。

家系番長「内緒。

うな井「なんだそりゃ。

家系番長「じゃあさ。

うな井「うん？」

家系番長「一緒にここで店やろうよ。

うな井「トリプルナインで、ラーメン屋かァ。

相変わらずのラーメン屋。無言ですする客がぼつぼつ。家系番長、色々と働きながら、うな井と会話している。うな井は少々飲んでる様子だ。

家系番長「チームの色は。

うな井「赤。

家系番長「黄色。

うな井「それでどうしましょうか

家系番長「どう？」

ここで赤い糸システム発動。家系番長が糸を手に取り「?」、糸の逆はしを掴んで、うな井がおどけた調子でチェーンデスマッチを提案する。

うな井「決闘しますか。そうしたら僕のことを見直してくれるもんですか？」

家系番長「話の流れ変わってきちゃってるよ。ああ。あたしのこと口説こうってこと。

うな井「あー、そういうんじゃないんです。……二人も三人も抱えられるほど甲斐性ないですよ、僕みたいなのはね……。

家系番長「あん？」

うな井「……どうも普通ってやつに馴染めないらしくて、濁った緑色のため息がついつい口を衝いて出る。何やってんだろうってね。

家系番長「いいねえ。変わった人いっぱい見てきたから大丈夫。普通じゃなくてもいいじゃない。

うな井「……至って普通の人間ですよ僕は。リアルだろうが、ゲームだろうが。ビールも呑むしすぐ酔っぱらう。帰りにラーメン食べたくなくて家ついて吐く。ごくごく普通だからなんですよ。その当たり前普通であることが不安でたまらない。普通の小市民であることに満足できない気も……。

家系番長「結構酔ってるんじゃない？ もうここいらでアガった方がいいよ、あんた。

うな井「ややややそんなはずないですから。それに僕には倒さなきゃいけないヤツがいる。

家系番長「……そっかー。そいつ強いんだ……。

うな井「……本気にしないで下さいよう……。

家系番長「……あたしさア、あんたみたいなプレイヤー（人）、ここでずっと待ってたのかも……。

うな井「……（何とも言いようがなく、はじめは無言で見つめる。それからふいに台詞）。色んな人にソレ、言ってるでしょ？」

家系番長「……まあね。

うな井「腹も膨れないラーメンな筈なのに、美味いんだよなあ……。

ラーメンを作る家系番長を、ぼんやり見ているうな井。

お湯を切る動きがすごい。

うな井「腕のキレイいっすよねえ……。

家系番長「まね。この腕のキレイはね……（言いかけた所で双子が暴れだす）。

渡辺「(双子のデブキャラで) こんにゃろー。デートしてくれよオ！」

天野「(双子のデブキャラで) デートしてくれよオ！」

渡辺「デートしてえなあ！

天野「何か、いっつも無視すんだけど、お姉ちゃん！ オデ梅しい～。

渡辺「替え玉ァ！

天野「替え玉ぐらいくれよォ！

渡辺「替え玉ぐらいくれよォ！ 客だぞーこっちは。

家系番長「はいはい。

渡辺「(ラーメンを持ってきた番長の手をいきなり掴んで) デートしようよォ！

天野「盛り上がってきたあ！（どんぶりを壁に投げつけガチャーン！要するに、分かりやすい悪党なのである）。ウヒヒヒ！

*双子のデブキャラは、他にも色々な役者さんに回ります。このシーンは、たぶんこの2人が担当。

うな井「あんたらちょっと……！

家系番長「ハッ！（双子の腕を一瞬でひねって） でいやあああ！！（背中から出した殺人鎌で双子をなます切り。双子も強者なのだが、全く相手にしない。惨殺）

うな井「すげえ。流石クリア直前までいった女。

家系番長「この、スナッフ、ね？

うな井「ラーメンと同じ……。

うな井、それから、気を抜いていて、パンダとガンに絞め殺される（うな井の死にパターン）。

気づいた番長、パンダとガンを銃殺する（以下、2キャラの死にパターン）。

パンダは愛嬌をふりまく→通じぬと分かって逃走→背後から殺される。

ガンは部屋の隅に追い詰められながら、謝罪の限りを尽くす→通じず→大の字になってあきらめる→殺される。

いきなりバトル中。

双子にうな井が、絞め殺されかけている。

うな井「今回、赤のチームは……、もう俺入れて2人しかいないんだ……！ もう、あきらめてるよ……、ラーメン……食べに行かせてくれ……。

渡辺「ムリムリ～！

天野「残念賞～！

渡辺「命の替え玉（替え玉、だけ二人でユニゾン）、してねエ～！

うな井、まさにラーメン屋の入り口でこと切れる。

ガンと番長（ガンと番長の二人は、今回同チーム）が気付いて、ラーメン屋の外まで来て、ナムナム。苦笑。

また、別の日。

家系番長、のれんとか片付けて、店をしめようとした所で、うな井の死体を発見、びっくり。

うな井いきなり死んでた、と思いきや、仮死状態で生きていた。

家系番長「また、死んでたよ。絞殺されて。NDE？」

うな井「ニア・デス・エクスペリエンス……。光ってた。臨死体験までゲームに入れんなよ……。

家系番長「あんたいっつも、しめ殺されてるよね。

うな井「ははは……。外、雨、やまないっすねえ……。

家系番長「あたしも第Ⅲステージで、ラーメン屋やろっかな……。……あそこで出店するのは、邪魔が多く入るから、やなのよねえ。

うな井「また食べに行きますよ。（ラーメンを食べる手を止めたまま、ぼんやりとした口調で）

家系番長「……ずっと、ここに居なさいよ……（背中から抱きつく）。

うな井「……（無言）。

家系番長「居てよ……。抱きついたまま台詞）

うな井「うん。……でも……。

雨の音が大きくなって。二人は、身じろぎもせぬままである。

暗転。

ノリ「冬は嫌いだ。何もかもが気持ちよく終わろうとする、俺には何の断りもなしに。……冬の街の喧騒の更に向こう、どこか遠くで鐘の音が聞こえる。凍えるような寒さの中、俺はどうにか拳を振り上げるも、あまりの寒さにソレを叩きつけることも、とって下ろすこともかなわずに、彫像のように固まったままだ……。

ノリ「あー寒い……。

光「……その格好失敗だねー。

ノリ「俺は気に入ってるからいいんだよ。お前こそそれ、いざバトルってときには動きに

くくてダメだろ。

光「あたしは気に入ってるからいいの……！」

ノリ「……あ、誰か倒れた。

光「あのベージュのって、セーターかな。地味だねー。

ノリ「あの格好は魂こもってないな。仲間だったら恥ずかしくて隣歩けねーよ。

光「だいじょぶ。たぶん、チームの人じゃないと思うけど……。

ノリ「つーか、なんでチーム違うってわかるんだよ。

光「前ロビーで話したことあると思う。なんかね、キモい微妙な人だったからさ、……あー、あたし、この人と同じチームだったらイヤだなーって、スッゴイ思ったのは覚えてんの。だからね、別のチームのはず。

ノリ「ハァン。なるほどな。あいつとは、お前は絶対同じチームにはなりたくないと。だから、絶対別のチームの筈だと。って、おまただのソレ希望じゃん！

光「だってそんなのわかんないじゃん！

ノリ「声大きいだろ！

光「先そっちがでかいし。そんな云うんだったら見に行けばいいじゃん。

ノリ「だから声デケーっつーんだよ！

光「なんでそこキレんのよ。……いいよ、いこ（光、小屋の外へ出て、泳いで隣の小屋に行こうとする）。

ノリ「（急に慎重に）待てよ。無駄に水ん中入ってもガタガタ震えるだけだろ。上がったって寒くて戦えんぞ。

光「いいよ。戦わないし。ぶっ倒れてるのがチームの人か見に行くだけ。

ノリ「そうだな、見るだけ見たらまた、静かに戻ってくればいいんだよな、……って戦わねーのかよ。つか何だ、何したいんだア！？

光「なんか今日おかしいよ？ 慎重なってるんだか知らないけど、木枯らし吹かれてブルってんの？

ノリ「ふざけんなよ！ 意味わかんねーよ。お前こそなんでそんな向こう行きたがってんだよ……。

光「だって少なくとも一人死んでんじゃん。だったら、あっちではもうバトルなってるかもってことでしょ……。

ノリ「戦わねーのに、バトルん中突っ込んでどうすんだよ……！ また葬式ごっこか？

光「“葬式ごっこ” じゃないって何回も云ってるでしょ……！ ……こうして、私たち恋人の心の溝に、ビル風のごとき寒風が吹きすさぶのでした。そんな今の気持ち込め、歌います。聞いてください。ジョニ・ミッチェルで「Big yellow taxi」

ノリ「俺たち、こんなんでもパートナーとしてやっていけんのかよ！

光「ちょっ、今、このタイミングで言いだす話！？

ノリ「実際どうなんだよ。

光「はあ！？ 知らないよ。今そんな、……ちょっ、後ろ、敵来てる！ しっかりしてよ！

ノリ「うおっ！ って、お前の後ろにも2人。早く気付けよ！

大乱戦。

まるでノリと光の痴話喧嘩がそのまま拡大して、大乱戦になったような印象だ。

乱戦には、座長、ルンルン（東郷）、双子①（松永）・②（大橋）、ガン、家系番長、れいこが参加。

ノリの死にパターンは、ナイフで後ろから刺されるです。

光「聞いてください。ジョニ・ミッチェルで「Big yellow taxi」

2番以降を歌う。

光「今日はたくさんの魂が彷徨っておりますので、まとめて語らせていただきます。

詩を言う。

ケストナーの人生処方詩集より「青年が夜明の五時に」

光がタイトルと出だしの数行言ったところで、

ノリが引き継ぐ。

ノリと光を囲んで、たくさんのプレイヤーがいる。

神父的な役の者が、司会をしている。

ジャック「光さん、あなたは永遠にノリ突っ込みさんを愛しますか？

光「はい。

ジャック「ノリ突っ込みさん、あなたは永遠に光さんを愛すること、誓えるんですか？

ノリ「誓えます。はい。

ジャック「今日ここ、ロビーにお集まりのみなさん、大きな拍手を〜。

囲んでいるプレイヤーたち、大きな拍手。それに応えるノリと光。

ノリ「血で血を洗う殺しあいを、途中で止めてまで……。こういうシステムが、ちゃあんと活用されてる所が、このトリプルナインってゲームのいい所だよな。

光「これ、ほんと、いいゲームだよな！

ノリ「そうだな……。

ジャック「では、誓いの指輪の交換を……。

光「これでもあたし達、昔は情熱的な関係の時もあったってのにね。

ノリ「まあね。

と、突然部屋に乗り込んでくる敵チーム。光「後ろ！ 危ない！」とか。

背後から刺されて、倒れるノリ。

倒れるノリへ詩を投げかけ、闘うかとみせかけて、早々に自害する光。

ノリ「あきらめ早いよ……！

光「いやだって……、コンビプレーしようって組んでるのにパートナー死んだら、もう意味ないかなって……。

ノリ「まあ、そうなんだけど……。あきらめ、早いよ……。

光「ねえ、前から気になってたんだけど、ずーっとフラフラしてるよね。

れいこ「もしかして？（自分を指さして）

光「言ってる、言ってる……。

れいこ「うわあ～！ やった。“見える人”だア～！

光「テンションアゲるわね。

れいこ「そりゃもう！ で、何か御用ですか！

光「愚痴っていい？

れいこ「……愚痴……聞き係り……。はい、かまいません……。

光「ウチらって本当に恋人同士なのかなあ。反体制の痺れるスタンス、バトロワ最強に見えた、昔は本当に格好良かったあの人……。

光「ウチらコンビじゃん？

ノリ「何だよ。

光「ロビーで、お互いロック好きだし、協力って話に。

ノリ「ステージⅡに入った時、出会ったんだよな。趣味近い人は信頼できるって、な。

光「で、すぐ付き合うようにもなったし。

ノリ「トリプルナインの中でだけでな。

光「それはいいんだけど。ウチらコンビじゃん？

ノリ「何だよ。

光「あかし、4人に囲まれてたんだよ。ちゃんと見えてたよね？

ノリ「うん。

光「1対4で、あたしのスキルで……、毒薬入り瓶数本で、どうにかなると思った？

ノリ「ううん。

赤い糸システム、ここで発動。ノリの手を縛るのに使用。

光「だよね。

ノリ「ああ。

光「助けてよ……！

ノリ「確かに。

光「もー！

ノリ「いいか、光、ロックの歴史に照らし合わせてみよう。

光「歴史？ ロックの？

ノリ「ロックの起源だ。白人がカントリー・ミュージックから発展させたものがロック、プレスリーがロックを起こした。それは事実だろう。……しかしながら、そこに黒人音楽のリズム&ブルースの血が混じる、この事実を忘れてはいけない。チャック・ベリーや、リトル・リチャードの功績。それが、ロック・イコール・白人という、限定的な音楽的貧弱さを避け、真にジャンルとして残るに足る優れた音楽となる原動力になったんだよ。

光「つまり？

ノリ「2人がそれぞれ頑張る、これ結果として成功への道。

光「だから、助けに駆け寄らない。

ノリ「んー、まー。

光「あたしを助けてくれなかった理由？ それが？

ノリ「……まあ、そうなるな。

光「お茶飲む？

ノリ「おっ、うん。(毒入り) ゲエエエ……！

光「(倒れて悶絶するノリに向かって) コンビは助け合う。助け合う！

ノリ「毒入り……かよ……！ (絶命)

ものすごい早口で、以下の掛け合いをする。

ノリ「お前さあ……。

光「お疲れ。生き残れたけど、ウチらのチームは9人いないし、今回はクリアできないね。

ノリ「そうだな。

光「ね。

ノリ「そうなんだけどな。

光「うん？

ノリ「何か違うんだよな……、お前。

光「え、何が……？

ノリ「お前さあ、クリアする気、ある？

光「クリア？

ノリ「そう、クリア？

光「クリア、したいねえ……。

ノリ「ステージⅡ、クリアする気、ある？

光「できれば。

ノリ「できればって……、お前……！ 鬼気迫るものが、ねえんだよなあ。ステージⅠとは違うんだぞ。いいか、光。

光「それはさあ……。なにさ、ノリ突っ込みさん。

ノリ「俺たちはプレイヤーとして、コンビを組んでる。

光「うん。あと、恋人同士。

ノリ「いいか光、俺たちは、音楽的趣味も完全にかみ合ってる。だよな？ コンビってのは、そういうことだよな？ よな？ 70年代、ブリティッシュ=ロックには3つの動きがあるだろ？ 分かるよな、知ってるよな。俺はトリプルナインクリアを絶対の目的にしてる。ハード・ロック、プログレッシヴ・ロック、グラム・ロック。攻撃性、芸術性、中性的退廃性。

光「そうね（もう理解を放棄）……。

ノリ「だから、な？

光「鼓膜痛くなってきた。

ノリ「どんなに、枝分かれしようと、ロックの精神はひとつ。ロックを体現しようぜ。

光「お茶飲む？

ノリ「おっ、うん。（毒入り）ゲエエエ……！

光「（倒れて悶絶するノリに向かって）コンビは助け合う。助け合う！

ノリ「毒入り……かよ……！（絶命）

光、倒れたノリの傍らで、歌う。

ジョニ・ミッチェルの歌を最後まで。

歌の途中でたくさんの人々現れ、いつもながらの大乱戦へ。

初心者「春は……、春は、嫌いじゃない。ううん、それはあたしの好きな季節だった。

初心者組合、ケータイいじってばかりいる。

ジャック「君はあれよね、ロビーでケータイいじってばっかだよな。

初心者「んー？（ジャックに）

ジャック「んー？

初心者「ん〜？（れいこに）

ジャック「ん〜、じゃなしに。

初心者「ロビーずっといるとさ、死んじゃって待機中の人とか、ただの見物とかいろんな人いてー。話しかけると色々勉強なるんだわ。友達とか結構増えたから、今度2人も紹介したげる。

れいこ「……どうせ、私は見えないから……（ウソ臭く傷ついたそぶり）

ジャック「あーあー、れいこちゃん泣かしたー。

初心者「えええw れいこちゃんてこんなことで泣くタマじゃないっしょw

れいこ「ちょ、ひどくなーい!?

ジャック「うんうん、まあいいからさ。そろそろ行くべー。

れいこ「よくない！そゆのよくないよ。

初心者「そうだよ。このステージはそうそう一筋縄でいかないみたいだし、私の友達なんかもここで足止めくらってもう何か月って人いるし。

れいこ「えー、わたしの話しじゃないの？

初心者「ん、なんの話ししてたっけ？

ジャック「れいこちゃんはいっつも元気だねーって話し

れいこ「ジャック、イマウソツイテル。（ロボ声で）

ジャック「要するにあれだ、今日も今日とてじっくり作戦練るぞー、つってロビイストなわけだ。

れいこ「そろそろさあ、フィールド参加しないと！ MASA さんとか、けっこう頑張ってるよ？ 私もいい加減、闘わないと体なまっちゃうし。もー、足なくなっちゃうよ……。

3人「幽霊だけにね！（その後スルー）

ジャック「考えてるだけじゃなくてさ、少しはやらないと。ソンデマタ対策立テレバイイジャナイ。（ロボ声で）

れいこ「オ。気がアッタネエ。（ロボ声で）

ジャック「あいしましたねえ。

初心者「おー、始まっているよ！ またノリさんコンビ大暴れ、あの人頑張るな〜、ていう

か懲りないなあw あの人を実況したい誘惑にかられるwww（またケータイをいじりだす）

ジャック「……れいこちゃん、ホラ！

れいこ「ジャックさんでしょ、ホラ！

2人「はい、ケータイしまって！！ 闘うよ！

初心者「えー……。 （引き摺られていく）

「どどいつ」を言いながら、見栄をきっていく三人。

ジャックとれいこで初心者組合を煽る。

「あの人の どこがいいかと尋ねる人に どこが悪いと問い返す！」

ジャックが勢いをつける。

「ままよままよと半年暮らす あとの半年寝て暮らす」

れいこが勢いをつける。

「ざんぎり頭を叩いてみれば 文明開花の音がする！」

ジャックが初心者組合をほめる。

「立てば芍薬 座れば牡丹 歩く姿は百合の花」

ジャックが初心者組合を、舌の根も乾かぬうちからかう。

「寝ればつつん 座れば無心 立てば後ろで舌を出す」

3人で上手く言う。

「上を思えば限りがないと 下を見て咲く百合の花」

れいこが生への情念を込めて。

「恋に焦がれて鳴く蝉よりも 鳴かぬ螢が身を焦がす」

初心者組合とれいこで見合って。

「ぬしと私は玉子の仲よ わたしや白身できみを抱く！」

ジャックが割って入って。

「丸い玉子も切りよで四角 ものも言いようで角がたつ」

初心者組合が仲を取り持って。

「白だ黒だとけんかはおよし 白という字も墨で書く！」

初心者組合サイゴにきめる。

「どうせ互いの身は錆び刀……！ 切るに切られぬくされ縁」

れいこが舞台の離れた所でふらふらしている。

それを初心者組合とジャックの二人が見つける。
遠くから声をかけて呼ぶが、意識がどこかへ飛んでいるのか、気が付かない様子。

初心者「ゆう・れいこー？

ジャック「うら・めしこー？

れいこ「そうなんです。そこで私は、気が付いてしまったんです。

ジャック「あ。こっち向いてくれた。

れいこ「気が付いたのは、このステージを覆っている謎のこと。それは、ステージⅡクリアに関わる重大なヒントだったのです……！

ジャック「んん？

れいこ「はじめに、私は、トリプルナインのいちプレイヤーでした。あ、私、結構、強かったんですよ。

私は、初心者組合さんとよく似たタイプのプレイヤーでした。

初心者「あたしや弱いけどね。

ジャック「うんまー。

れいこ「私すなわち、ケータイいじり。ゲームの中であろうが、人と対面する時は、常にキョドリまくりです。しかも、すぐに実況したり、呟いたりする欲望が止められないキャラだったのです。……こんなキャラがですよ、「999」という生き残りかけたゲームの中で、他者から信頼を得られたと思いますか？

ジャック「思わない。

初心者「身をもって（体験中です）。

れいこ「ステージⅡの謎は解けた。でも、そのクリアには、見知らぬプレイヤーさんたちの厚い協力が必要。

エキストラのプレイヤーたち出てくる。

長ドスを持って闘いながら、そのプレイヤーたちに協力してゲームをクリアしようと訴えるれいこ。ケータイいじりながら殺陣をする、慌ただしい姿。どこか物悲しい。

れいこ「事を起こしたいのに、大前提の信頼が得られない。無視。裏切り。クリア方法のヴィジョンがハッキリと頭の中にあるのに、失敗が続く。

エキストラのプレイヤーたち、ロビーでも、冷たい態度。

肩をつかむも跳ねのけられる動き、等で表現。

れいこ「意固地になっていました。バトルフィールドでもロビーでも、どんどん居場所がなくなる。真意は伝わらず、“面倒くさい女”とだけ知れ渡る。

プレイヤーたちに囲まれ、攻撃を受ける。それでも、説得をやめない。

れいこ「その内、悲しいことが起こります。“面倒くさい女”は早めに除外と開始10秒で、私だけ、真っ先に殺されるようになっていったのです。味方からも撃たれました。

れいこは舞台前面にある階段から下りて、客席の通路へ歩いていく。

れいこ「いつしか、私は、プレイヤーから下りて、幽霊と化していました。

はじめは一人でした。今は一人じゃない。

そう、オンラインじゃよくある話。コミュニケーションが上手くなくて途中でハブかれていった無数のプレイヤーたちの無念の想いの集積、それが今の私です。怨念がおんねん、重い想いの集積、うら・めしこ。

ジャックと初心者組合は舞台の上において、舞台から下りたれいこに話しかける。

ジャック「話しかけてみろよ。

初心者「何て……？」

ジャック「話しかけられない？ 可哀想で？ あいつはもう幽霊なんだ。死んでこのゲームから降りてるんだ。第一、一人じゃない、たくさんの想いの集積なんだ。

初心者組合「れいこちゃん。

れいこ「初心者組合さん。（笑顔で手を振る）

初心者組合「あなたの無念は、あたしが引き受けた。

れいこ「……………（うなずく）。

初心者組合「あっ！（ジャックに）思いついた！ ゆうれいこちゃん成仏させる方法！

ジャック「キタコレ！

ジャック舞台を下りて、れいこを舞台上に連れ戻してくる。

人びと、ゾロゾロと出てくる。

ヒト「ロビーで結婚式のイベントって聞いたけど？

ヒト「どのカップルを祝えばいいの？ *ほぼ同時

ヒト「女の子しかいなくね？ *ほぼ同時
ジャック「はい、結婚式のシステム流用な～！

胸の前で、このゲーム世界特有の十字？を切る。
それから胸の前に手をおいて、目をつぶる。
*何人か、合掌してるやつもいる。(リスペクト)

光がれいこに詩集読んであげている様子。「墓場の老女」という詩だ。

『～彼女はしゃがんで 待っている そして毎日
「死よ さア おいで」と…… 祈っている……』

人びと、拍手。

れいこ「すっきりした。そろそろ、次のゲーム、行こうかなァ……。

初心者「(ケータイで) うん、見てて、謎が解けたの。謎は簡単。ロビーで見れば、すぐ分かるよ。でも謎がわかっても、あたしにはクリアができるかどうか……。ま、できる限りやってみるから。じゃね。3人とも行動派だし、得意だと思う。

初心者「本日お集まりいただいた、9人の皆さん。ありがとうございます。ステージⅡクリアへのナビをさせていただきます、初心者組合です。

こつは、簡単、あとは、集中力と協力です。って、あたしが一番不安要素w
足引っ張り要員乙www

初心者「まずは、ログインした全員を同じカラー……、青色で統一しましょう。話はそこから。はい、色を自己申告ください！

「青。

「青。

「青。

「赤。

初心者「残念！ はい、即自害します！ 周囲のプレイヤーに丁寧に謝ってから。自害して！ ……今度はどうですか。

「青。

「青。

「青。

「青。

「青。

「青。

「青。

「青。

初心者「青、にしました。オーケー9人、チームカラー青色、出ましたね。あい、ここからが本番ですよ。

青の小屋には、ルンルン・れいこ・ガンの3人

赤の小屋には、キモメン・マルメン・光・座長の4人

黄の小屋には、初心者組合（百合崎）・家系番長の2人

座長「よろしゅう。

マルメン「同じ小屋スタートか。他は？

光「私も私も。

初心者「家系番長さんごめんね。番長さん強いから、ここは全部任せたーw

れいこ「とりあえず、どうすりゃいいんだろ……？

ガン「とりあえず、いつも通りのノリで戦えばいいんじゃない？

初心者「れいこちゃん。すね蹴って！

れいこ「……はい！

ガン「はうあ！！！！

初心者「ほい皆さん！　ここで脳内回想シーンして。思い出してね、ロビーのミーティング！　……3つの小屋のどこからスタートになっても、ロビーにつないで連絡を取り合いましょう。OK？

番長「OK

ガン「チームメンバーの顔、分かって始めれてるし、いつものノリで余裕っしょ（闘うポーズしながら）。

初心者「そうなんですけどもー。

キモメン「レディー……。

初心者「あ。まった、ゴーまった、ゴーまった。

一同「えう！？

初心者「んで、

ルンルン「ゴー。

初心者「ええええwまった、っていつてるのにい。

ガン「なんだよ、テンションさがるなあ。

光「ちょ><

ガンのすねをつま先で蹴る初心者。

ガン「はうあ！（涙）

初心者「いつものノリじゃステージⅡはクリアできんです。偉いヒトにはそれが分らんです。おっほん。これからステージⅡに挑戦するわけですが……。始める前にロビーで9人分、確認したいことがあるんです。

座長「各自のスタート小屋なら、逐次報告でいいんじゃない。

初心者「や、それはそうします。ここで確認したいことは、あなたたち9人の「999」ステージⅡでの、一人一人の死にパターン。

ガン「ちょw 始める前から加功死ぬこと考えんのかよ。

もう一方のガンの足のすねも蹴る初心者。ガン「もろうい！（激涙）

結果、ガンは面白いポーズでストップ。

初心者「だーまーってー！

一同「……はい。

初心者「……よく死ぬ『死にパターン』または『死にいたるまでの流れ』を全員思い出してください。これ、必ずどっちか決まった奴があるんです。

光「必ず？ ゲームの中なのに、必ず？

初心者「そう、ステージⅡを本気でプレイしてると、何故か皆、おんなじ死にパターンにさせられちゃうの。……プレイヤーが、ゲームの側から干渉されてるの。

皆「本当に！？

初心者「これがステージⅡの秘密。

番長「それ一人で気づいたの？

初心者「まあ、一人っていうか、霊界と交信？

番長「へえ。私、前彼にロビーで教えてもらってやっと分かったよ。

初心者「おー。

番長「挟み撃ち、だよ。私。必ず2人以上に頭を挟まれて、ズドン。これは死にパターンの方だろうね。

初心者「ぼいですねー。家系番長さん、けっこう強いからどうやって？ って思ってたらそゆ形で固められてたんですね。はい、つぎ座長さん！ 方だろうね、の『ね』！

座長「狙い撃ち。毎回、ライフルとか弓で狙撃されてお陀仏><

初心者「ヒットマンこわす；；はい、お陀仏のつ！

ルンルン「つ……強い奴に撫斬りにされ毛皮となる。

初心者「ルンルン喋った！（全員衝撃）てか強い奴って誰やねんwはい、る！

キモメン「ルンルンに勝てないw

初心者「それわ、ルンルンに毎度毎度やられるってことね。珍しいタイプだけど今回は味方だからOKwもうちょい頭使って！

キモメン「落とし穴に落ちて上がれない。

初心者「ちゃんとあるでしょ！ はい、い！

ガン「命乞いして、めいっぱい粘ってるんだけど、結局、部屋の隅に追い詰められて、殺されるんだよな～。

初心者「部屋の隅にいかずに、命がけで戦ってください！ はい、な！

光「仲間の死をきっかけに自害。

初心者「自害方法？

光「毒飲んで、切ない。

初心者「なになに、2人連続で微妙～。諦めないで戦って！ はいつぎ、い！

マルメン「いつも、首がスポーンて、刎ねられちまうお。

れいこ「う！ うまいこと成仏できたんだけど、戻って来ちった。

初心者「うん、そうね。れいこちゃんはさしぶりー。昔のこと、憶えてる？

れいこ「両足切られてごうもん死ー！

初心者「うっ……！ そりゃ幽霊にもなるわ（涙）。さて、これで9人の死にパターンがクリアになりました！ お互い傍らにいるメンバーをヘルプしなければいけません。コンピュータの支配する「図ったような偶然」に振り回されず、死にパターンを9人が協力して回避し続ける！ これが、クリアなクリアへの道なのす！ とかにく……！

キモメン「えw

ガン「とかにくww

マルメン「日本語でおk

れいこ「てんぱっちゃったね、瓜子ちゃん。

初心者「と、とか……とにかく！ 以上でミーティングを終わります！ 後は各自のバトルに期待！

百合崎、長い二丁拳銃を指揮者のように振りかざしながら各所の戦闘を指示・コントロールしていく。

*以下の断片のシーンは、立ち稽古をして振りを付けて、不足分があったらば加えていく予定あり。

キモメン「ル、ルンルン味方だから負けないお！

座長「あんさん、そない息荒うしてれば肝心要るときに力い出ませんえ？

座長「(ロビーにて) なんぞ人集まってきて、小屋パンクしそうやわあ。

初心者「(ロビーにて) 自分たちだけじゃなくて、他の色が揃うのも阻止阻止！

ガンと座長、顔き赤の小屋に移動する。

ガン「はい、この小屋の住人、手え挙げてください！(ロビーに戻り) って赤だらけ！ ち

よっと集まり過ぎじゃんよ。すみません、命ばかりは……！

初心者「ハイ！ 部屋の隅に行か(せ)ない！ 暴走！

ガン「うおおおっ！

キモメン「お前追い込まれても、おでらいるから安心一。

マルメン「おでも突っ込むぞー！

光「や、あれわムリw><

初心者「ってはいそこ、おっきい人フォロー。首がスポーンて、飛ばされますよ！

慌ててフィールドに戻り、マルメンのフォローに入る光。

ロビーに一同終結、状況の確認。

初心者「みなさん、無事ですよね！

座長「まあだ誰も死んでない。ウチらもたまにはな、恋せず長〜く生きる乙女であろうや

光「あんた乙女とかw一緒じゃないし。

初心者「赤が揃うのは、赤小屋メンバーのおかげで阻止できました。あとは双子のお二人

に任せて光さんも先に青に移動、制圧しといてね！

番長「あんた動けないんだからさ、一人ちょうだいよ。

座長「あちきが参ろうかいのう。

初心者「じゃあ、あちきで！ 後半戦、気合い入れ直してがんばりまっしょう！

各自受け持ちの小屋にもどっていく。

光「ルンルンww図体デカイからって後がガラあきすぎwぱっさり袈裟で毛皮剥かるw

ww！！

座長「あんさん、飛んでくるあの矢一、はじき落とせるん？」

番長「ああ、あんたそれで命の替え玉なんだっけ。いいわ、守ったあげる。

座長「そ、それは！ 伝説のチタン製ラーメン湯切り！」

番長「上下の動きが間に合えば、何とか……！」

れいこ「こちら青～って知ってるよね。3人無事、他のチームが残り2人。このまま余裕で押し切れそう。

苛烈を極める各小屋の戦闘。

初心者「○から○に座長さん番長さん！ そして○からガンさん○色に！ ラスト掃除しちゃいましょう！」

光、追い込まれて、毒薬を飲みかける。そこへ、家系番長が助けに飛び込んでくる。

番長「その毒薬、ルンルンに飲ませてみて！！

光「はっ、はい。……ル、ルンルン強まった！？（ルンルン大暴れ）

番長「背中を守られて闘うのってイイわよね！」

座長「あいなァ！」

番長「今度、うな丼ともやってみたいなァ！」

座長「恋バナ。男と女、操りつられ。稽古不足を幕は待たない、この座長が相談のりますえ！（2人でユニゾンしながら闘う！）

番長「♪恋はいつでも初舞台。この野暮天！ キモメンを落とし穴に落としちゃ駄目さ！」

キモメンが穴に落ちかけるのを（テーブルの向こうに落ちかける？）慌てて防ぐメンバー。

座長「その穴、代わりにれいこ入れといて。

初心者「終わるまで入っときな。

マルメン「穴ん中なら、足斬り飛ばされねえなー！ グハハ。

れいこ「なんで私は死んじゃったの？ なんで私は生まれたの？ あの時だって9人もいたのに、一人孤独に闘って、誰にも手を貸さず誰にも手を借りず、そうやって出た死を甘受し続けていたから。

初心者「むつかしいことはリプレイン時にしよ。付き合ったげる。
れいこ「助け合いでも、利用しあってるんでもいい。今ひとときは、互いに半分ずつ出した手をとりあって組み合って。

全員、最後の1アクション。3つの部屋から18回の悲鳴が上がる。
それを9人は各所で耳に手を当て、耳を澄まして聴く。

初心者「他の色倒して、絶望と悔恨のスクリーム！ 叫び声、18回出ましたよね！？
光「ロビーを見渡せば、9人の疲弊した顔。
初心者「クリアです、青の小屋へ集まりましょう。クリアです！

9人でハイタッチ（近くにいる奴と）。
ついに、ステージⅡをクリアする9人。皆息は荒いが、達成感のある表情だ。
一人また一人、次のステージへの扉をくぐって出ていく。

重い鉄の扉の閉まる音（S.E）、バターン！ で次の「999・Ⅲ」へ。

暗転。